

大阪マイペンライ 第19回総会

2011. 6. 2
PLP 会館中会議室



アジア保育教育交流推進実行委員会

大阪マイペンライ2011年度第19回総会議案目次・次第

第1部

第1号議案 活動の経過と方針

- 1 マイペンライの総括と今後の方向について・総括の骨子
- 2 サワディ基金のとりくみ
- 3 来日招聘研修のとりくみ・現状と検討方向
- 4 スタディツアーのとりくみ・現状と検討方向
- 5 こどもスタディツアーのとりくみ
- 6 絵本プロジェクトのとりくみ・現状と検討方向
- 7 組織活動について
- 8 現地 NGO との連携した活動の推進について
- 9 「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の経過と継続した事業の実施について

第2号議案 2010年度決算と2011年度予算案

第3号議案 2011年度役員体制案について

第4号議案 「国際ボランティア貯金」寄附金による事業にかかる特別会計の設置及び予算について

第5号議案 その他

第2部

記念講演の部

中原 亜紀 氏 (シャンティ国際ボランティア会東京事務所海外事業課長)
「シャンティ国際ボランティア会・・・海外での30年 (仮題)」

資料：アジア保育教育交流推進実行委員会のあゆみ

※表紙の写真は自治労大阪市従業員労働組合民生支部（現市民生活支部）の国際貢献の取り組みで完成した、学生寮（上2枚）とスアンプルー地区のコミュニティセンター（下2枚）の写真です。

2010年度活動日誌

2010年

- 4月14日(水) 2009年度第3回実行委員会
4月22日(木) 2010年度第18回総会
5月26日(水) 招聘研修打ち合わせ会議
6月21日(月) 招聘研修打ち合わせ会議
7月10日(土)～24日(土)招聘研修
7月23日(金) 多文化共生セミナー
9月7日(火)～9月13日(月)「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第1回公開保育研修事業(バンコク)
9月27日(月) 2010年度第1回実行委員会
報告事項(2010年度第18回総会、2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の具体化、2010招聘研修、子どもツアーの中止)
協議事項(2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の具体化、2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の実施と新たな「郵貯機構」へ申請、「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の成功をめざす寄附金募集事業の実施、2010年度スタディツアーの実施、今後の絵本活動について、2011年モン・カレンダーの販売)
9月30日(木) 「国際ボランティア貯金寄附金事業」へ新たな事業を申請
12月12日(日)～19日(日) スタディツアー(西タイ、ラオス)
12月16日(木) 研修事業打ち合わせ会議
12月21日(火) 絵本活動についてのSVAとの話し合い

2011年

- 1月26日(木) スタディツアー総括会議
1月28日(金) 2010年度第2回実行委員会
報告事項(「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の成功をめざす寄附金募集事業の実施、2009年度「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の完了と返還金、絵本活動について、2010年度スタディツアー)
協議事項(2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の具体化、2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の実施と新たな「郵貯機構」へ申請、2011年度第19回総会について)
1月29日(水) 研修事業打ち合わせ会議
2月15日(火)～21日(月) 「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第2回公開保育研修事業(バンコク)
3月4日(金)～6日(日) 研修事業モニタリング
4月28日(木) 2010年度第3回実行委員会
報告事項(第2回バンコク研修事業の実施と住民講演会の中止について、2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の配分決定について)
協議事項(2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の実施計画、2011年度第19回総会について、2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の完了)
5月20日(金)～22日(日) 2011年度公開保育事業事前調整スタッフ派遣
5月25日(水) 2010年度第4回実行委員会
報告事項(2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の実施計画の提出について)
協議事項(2011年度第19回総会について、2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の完了報告について)

とりくみ予定

- 6月2日(木) 第19回総会
6月21日(火)～27日(月) 国際ボランティア貯金寄附金事業第1回バンコク公開保育研修事業

第1号議案 活動の経過と方針

1 大阪マイペンライのこれまでとこれから

(1) 大阪マイペンライの結成 大阪マイペンライは1993年4月に結成されて以来、部落解放同盟大阪府連合会、大阪府教職員組合、自治労大阪府本部の3組織を中心としながら、多くの団体・グループ・個人の皆さんの支えをいただき、取り組みを進めてきました。また、日本においてはシャンティ国際ボランティア会(SVA)、タイ・カンボジア・ラオスではドゥアン・プラティープ財団(DPF)やシーカ・アジア財団の協力・連携のもと、活動を進めています。

大阪マイペンライ結成の契機は、1990年の国際識字年でした。「国際化」が叫ばれ、「日本の国際貢献」「アジアの中の日本(と日本人)」が大きなテーマになっている中、私たちは、それぞれの団体が反差別・人権擁護の立場で国際交流を進めてきましたが、国際識字年を期に活発化したアジア太平洋各地の識字運動・民衆教育運動との交流が拡大し、草の根の人権教育関係者のネットワークづくりが進められていることに注目しました。そこで私たちは、大阪の部落解放運動や同和保育・教育の経験を積極的に紹介し、タイ・インドシナ地域をはじめとするアジアの民衆教育運動との相互交流・支援を活発化させることを目的に、結成しました。

今、地球上には約10億人の成人識字者(読み書きの機会を奪われた人)とともに、1億人の学校へ行けない子どもたちが存在しています。その大半(4分の3)は、タイ・インドシナ地域をはじめとするアジアの国・地域です。くわえて年間1200万人もの5才未満の幼い子どもたちが、風邪や下痢やはしかや栄養不良、飢餓などで死んでいます。アジアのスラムや農村の子どもたちは、貧困と差別の中で生きる権利すらおびやかされているのです。国連の子どもの権利条約を具体化し、アジアの各地に学校や保育所とともに地域の教育・生活・福祉の環境を整備することが緊急の課題であり、この面でこそ日本の「国際貢献」が求められています。

(2) 互いに学びあう関係 アジアの子どもたちがおかれている状況をふまえて、私たちは、支援する側、される側という一方的なものではなく、一人一人お互いの顔が見える関係、お互いに学びあい相互に助け高めあえる関係として、この間の活動を土台に、より一層の広がり高めをめざし、今後の活動を進めていきます。

大阪マイペンライはこれまで、人材育成を目的とした「サワディ基金(奨学金)」の取り組み、結成以来、継続して取り組んできた相互交流プロジェクト(招聘研修、スタディツアー)、翻訳絵本の提供を目的とした絵本プロジェクト、5周年事業の「保育・教育セミナー」、10周年事業の「障害児保育・障害者の生活から学ぶワークショップ」・「自立をめざすアジアの子どもたちの国際交流事業」、15周年記念事業としてスタートし、4年目を迎える「国際ボランティア貯金」寄附金助成による「タイ保育研修事業」を取り組んできました。これらの取り組みの中で、あらためてタイのスラムや農村の現状を目の当たりにし、新たなニーズを実感しました。

(3) 活動の現状を踏まえた総括

大阪マイペンライは1993年に結成し、2013年には20周年を迎えますが、これを前にしてあらためて結成以来の活動を振り返りつつ、当会の活動の柱である、「招聘研修事業」「スタディツアー」「絵本活動」「奨学金」について、取り組みの現状を総括していくこととします。

2 サワディ基金のとりくみ

(1) とりくみの経過

サワディ基金は1993年に設立し、94年に支給を開始し、本格的にスタートしました。この基金は、タイのNGOの職員で農村やスラムの保育所・幼稚園で働きながら、夜間の専門学校や大学で学んで保育士・教師などの資格取得を目指す若者たちに対して、年額1万バーツ(約3万円)を支給することでスタートしました。

これまでに、94年に70万円、96年に50万円、98年に50万円、2001年に50万円、2003年に200万円を奨学資金として現地のNGOに送り、運用を委託しました。現時点で、基金は現地からの報告によると、451289バーツ(約1579000円)残っています。奨学生が生き生きと活動し、勉学の励んでいる姿を受け止め、この活動を継続していくことの重要性を確認しています。

(2) 財源の確保

この奨学金の財源は、団体会員や個人会員からのサワディ基金に寄せられた寄付や、アジアの農村やスラムの人々の手作りのクラフト販売で得た差益を積み立てて、充当しています。これらの資金を、タイのNGOであるSVA・DPFに運用を委託し、給付しています。引き続き、会員へ協力を呼びかけ、寄付を受け付けるとともに、基金が一定額に達していることから、クラフト販売の差益については、大阪マイペンライ活動全体へ運営資金とします。

(3) 奨学金の給付方式について

これまで多くの方からサワディ基金に協力をいただき、今後も奨学金の「給付」という形によって有効に活用します。

(4) 奨学生の選考など基金の運用について

奨学生の選考、奨学資金の運用などについてはSVA（シャンティ国際ボランティア会）・シーカー・アジア財団（SAF）・DPF（ドゥアン・プラティープ財団）の協力を得ながら、進めることとします。

(5) サワディ基金の給付の状況

2010年度については、これまで給付を受けていた奨学生が学業を終え、卒業したことで給付が終了したことと、奨学金の給付規定に合致する対象者がいなかったことにより給付はありませんでした。

(6) サワディ基金の今後の活用について

現在の基金は現地のNGOに預託し、スタッフへの奨学金として支給していますが、その運用状況を把握し、今後の有効活用のための検討を進めることとします。特に、昨年度給付対象者がいなかったことについて、給付規定が対象者を限定するものとなっている点の問題もあり、給付規定を現状に沿ったものとするよう現地の運用委託団体の検討をお願いしています。この検討結果を踏まえて、規定を変更し、基金のより有効な活用を図ります。

15周年記念事業に続く「国際ボランティア貯金」配分金事業を進めるにあたって、その資金に充当するためサワディ基金を一時取りくずすこととします。また、「サワディ基金」の残額、会計状況を考慮しながら、一般会計からの繰り入れも検討していくこととします。

3. 招聘研修の経過と取り組み

(1) 2010年度の取り組み経過

第18回招聘研修は、7月10日（土）～24日（土）の2週間、タイ・ラオスからのゲストを招き実施され、府内各地で交流が展開されました。ゲストは4名で、SVAカンボジア事務所のパルさん、SVAタイランドの松尾久美さんが通訳を担当しました。

カンボジア、タイから事前に大阪での研修希望が届き、その期待に応えようと受入れ組織が集まったの調整会議を開き、受入れ組織内においても細やかな調整をいただき、楽しい交流が展開されました。

① 受け入れていただいた団体

- 部落解放同盟大阪府連合 安中支部 (タイ)
- 部落解放同盟大阪府連合 生江支部 (ラオス)
- 大阪府教組高槻市教職員組合 (タイ)
- 大阪府教組泉南地区（貝塚）教職員組合 (ラオス)
- 自治労大阪摂津市職 (タイ)
- 自治労大阪市職民生支部 (ラオス)

2010年大阪マイペンライ招聘ゲストプロフィールと研修希望について

	ラオス		タイ	
名前 職場・ 業務内容	シャンティ国際ボランティア会ラオス事務所（SVA） プッタナリー・タムマミサイさん(オイスさん) 女性 学校教育支援事業課 事業スタッフ	シャンティ国際ボランティア会ラオス事務所（SVA） アレクサイ・パムアンさん(アレクさん) 男性 図書館事業課 事業スタッフ	シーカー・アジア財団(SAF) マーリニー・チャムナンハットさん(ターイさん) 女性 スワンプルー保育園年少担当	シーカー・アジア財団(SAF) ピクン・プラーニースワナクンさん(ノンさん) 女性 クロントイ図書館担当
通訳・同行	松尾久美さん（SVAタイランド）		12日～16日：八木沢克昌さん SVAアジア地域コーディネーター 20日～24日：木村万里子さん（女性） SVA東京事務所・ラオス担当	

研修希望

《ラオス》

プッタナリー・タムマミサイ

日本の文化と生活（過去から現在含め） 日本の教育事情（小学校、幼稚園） 日本の子どもの生活（小学校と幼稚園） 学校での児童の活動 小学校での教鞭内容（活動）、教員マネージメント方法 図書館活動と運営方法 特殊教育を必要とする子どもへの教育 民族教育、人権問題

アレクサイ・パムアン

図書館活動と運営方法 児童館活動と運営方法 保育園と幼稚園の活動と運営 障がい児の施設の様子、活動と運営 各施設の資金面の運営管理方法 日本の文化、生活、教育事情 人権問題

《タイ》

マーリニー・チャムナーンハット

□共生保育の実践・考え方を学ぶ □スラムあるいは貧困地区での開発実践を学ぶ □幼稚園・保育所での教材及びおもちゃ作りの工夫を学ぶ □幼稚園・保育所における活動計画の立案について学ぶ □職業訓練校、図書館、児童養護施設の視察 □子どもの発達について学ぶ □絵本について学ぶ

ピクン・プラーニースワナクン

□児童館のような子どもに対する活動を提供する施設の見学 □日本の図書館運営における使命・重要課題を知り、読書推進のための取り組みを学ぶ。(図書館の内装、図書の展示、活動企画、広報戦略など) □地域住民のつながりをつくる場となっているような施設・実践の視察 □保育・教育施設において、年齢ごとの子どもの接し方、保護者との関わりを学ぶ。特に、保育士・教員と保護者との関係作り。 □子育てセンターにおいて親子の交流を生み出す活動の工夫を知りたい。障がい者・障がい児施設において、当事者及び家族に対する心身へのケア、地域との関わり方を学ぶ。図書館の利用者に障がい児もおり、家族への対応を含めて日本での実践から学びたい。

2010年(第18回)大阪マイペンライ招聘研修スケジュール

2010年7月10日(土)～24日(土)

	ラオス	タイ
10日(土)	6:10 TG622 関西空港着(23時BKK発)	ホームステイ
11日(日)	14時 オリエンテーション (民生支部)	ホームステイ
12日(月)	大阪府教組・泉南地区教職員組合(貝塚) 貝塚市青少年人権教育交流館訪問 ホテル泊	大阪府教組・高槻市教職員組合 風の子文庫(市民運営) 中央図書館 芥川幼稚園 交流 カンガルーの森(高槻市立子育て総合支援センター) 関西大学ミュージックキャンパス子ども図書館 ホテル泊
13日(火)	貝塚市立東小学校訪問(5年児童と交流) 貝塚市立中央小学校訪問(3年児童と交流) ホテル泊	三島文化ステーション(つどいの広場) 都市交流協会高槻市表敬訪問「市長」 教育委員会表敬訪問「教育長」 ノーマライゼーション高槻コレメナ あくあびあ(あびあ) 芥川(芥川緑地資料館) ロッジ
14日(水)	岸和田だんじり会館見学 自治労大阪府本部・大阪市職民生支部 大阪市立児童院(情緒障害短期治療施設) ホテル	高槻市立北清水小学校 自治労大阪府本部・摂津市職 市長表敬訪問 摂津市職職員支部交流会 ホテル泊
15日(木)	わかさ保育園 松通保育園 NPO生活サポート釜ヶ崎 フィールドワーク 今池こどもの家 子どもたちを交えての夕食交流 ホテル	摂津市立 正雀保育所 : 摂津市民図書館 施設見学 太中浄水場 施設見学 摂津市職保育所支部との交流会 ホテル
16日(金)	阿武山学園(児童自立支援施設) 大阪市立中央図書館 自治労大阪府本部・保育部会交流会	阪急操車場 施設見学 環境センター 施設見学 味舌小学校学童保育室 施設見学 摂津市役所 文化(遊び・歌・踊り)交流 ホームステイ
17日(土)	茨木マイペンライ訪問	ホームステイ
18日(日)	フリー・観光(自治労大阪府本部・大阪市従市民生活支部)	ホームステイ
19日(祝・月)	交流研修のまとめ 大阪市立子育ていろいろ相談センター見学 加藤啓子さんによる「手作り絵本ワークショップ」	ホームステイ
20日(火)	部落解放同盟大阪府連・生江支部 WELCOME セレモニー 城北小学校移動図書館 フィールドワーク① 白寿荘(高齢者)② 翠(高齢者デ イサービス)③ 光生園(障がい者会館)、④ あさひ西 (市民交流センター) 懇談会「ラオスを知ろう」 ホテル	部落解放同盟大阪府連・安中支部 高美南小学校見学(ベトナム舞踊見学) 八尾市表敬訪問 ムーミン(子育て広場) 食文化交流 ホームステイ
21日(水)	生江小学校の低学年補充学習 生江保育所子どもたちと交流 高殿小学校「いきいき・ミニバスケット」 「飛行船(障害者作業所)でパン作り 「なぎさ・だんじり」(小学校3年～中学3年くらいの子	ゆう安中東保育所見学 志紀図書館 ちびっこお話し会 障害者センター児童デイ見学 安中青少年会館見学 ホームステイ

	もたちの活動)と料理作り、後片付け	ホテル	
22日(木)	「なぎさ・だんじり」のこどもたちと城北公園で「せみとり」 淀川で「ざりがにつり」 NPO法人「生活サポート釜が崎」		八尾市歴史民族資料館 河内木綿紡ぎ体験 里の風作業所(障がい者作業所)
23日(金)	9:30 大阪府表敬訪問 11:00 大阪市表敬訪問 午後 総括会議・セミナー準備 18:30~ 多文化共生セミナー・お別れ会(PLP会館)		
24日(土)	東京に移動		帰国

(2) 招聘研修事業の現状と検討の方向

① 現状

タイ、カンボジア、ラオスから現地のNGOスタッフを2か国ずつお招きし、大阪で研修・交流する事業として取り組んでおり、1993年から2010年まで毎年1回休むことなく18回実施してきました。この結果、3か国から106名(通訳・同行含む)のスタッフをお招きすることができました。大阪での交流は、2か国のグループが3か所ずつの職場・地域で交流するという形が定着しており、その数は100か所の上と思われ、現場で受け入れることで、多くの人々との大衆レベルの顔の見える交流が実現しています。

研修・交流は、3つの団体をお願いして、毎年6か所での交流を行っていますが、18回を数える中で、受け入れる現場は限定せざるを得ず、過去に受け入れた組織が繰り返し受け入れざるを得ない状況となっています。また、受け入れに当たっては、受け入れ組織に研修・交流のための経費・要員を負担していただいております。その確保が困難な状況となっています。

一方、送り出す側の3か国のNGOにおいては、2週間にわたって現地スタッフと通訳を派遣することの困難性があり、とりわけ通訳・同行者の確保が近年困難となっているように見受けられます。また、現地のNGOが大阪への招聘研修について、どのような要望を持っておられるのか十分に把握していない中で従来のやり方を踏襲して実施してきているという状況にあり、研修の趣旨やスタッフの選定、人数・期間など検討すべき時期に来ているといえます。

② 検討方向

招聘研修事業を継続していくことを前提にしつつ、大阪での受け入れ態勢の問題、派遣する側のNGOの課題を考慮し、次の点についての検討を行なう。

- ・ 招聘国を現状の1年2か国(タイと、カンボジアかラオスからの招聘という方式)について見直し、1年1か国の招聘とする。招聘については、当会の通年的な事業の実施と関連付けて招聘国及びスタッフを選定する。
- ・ 招聘期間については現行の2週間を見直し、期間の短縮を行う。これによって、毎年3つの団体による受け入れという方式を基本としつつ、招聘スタッフや招聘期間との関係を考慮して受け入れの回数、期間を見直す。

(3) 2011招聘研修の実施について

招聘研修の実施にあたってはシャンティ国際ボランティア会・シーカーアジア財団の、受け入れにあたっては、3つの大阪マイペンライ団体会員に、それぞれ多大なご協力をいただいております。今年度の実施に当たっては、検討の方向である、①1年1か国の招聘、②招聘期間の短縮の検討、③大阪での受け入れ態勢の協議に基づいて、関係先との協議を行い、日程等の具体化を図ることとします。

受け入れ先については、自治労大阪府本部、大阪教組および部落解放同盟大阪府連に要請することとします。

4. スタディツアーについて

(1) 2010スタディツアーの取り組み経過

日程 2010年12月12日～19日

行き先 西タイ(ターソンヤン郡)、ラオス、バンコク

参加者 10名(西タイコース 3名、カンボジアコース 4名)

第1回学習会 11月28日

第2回学習会 12月8日

2010スタディツアー全体日程概要案

日	西 タイ		ラ オ ス	
	時間	内 容	時間	内 容
12月 (日)	22:00	関西空港 4階Dカウンター付近集合	9:00 11:45 15:35 19:50 21:00	関西空港 4階Dカウンター付近集合 関西空港発 TG623 バンコク着 バンコク発 TG574 ビエンチャン着 ホテル泊
13日 (月)	00:30 04:30 05:30	関西空港発 TG673 バンコク着 バンコク発 自動車で移動 メーソット着 ターソンヤン郡着 ホテル		ホテル出発 観光 ホテル
14日 (火)		農村での交流・視察・「ボラ貯」助成事業 視察 メーラムン学生寮視察 ボボキー保育園視察 ホームステイ	9:00	SVAラオス事務所(事業説明) 常設図書館見学 VTE首都図書館見学 SVA移動図書館活動見学 ホテル
15日 (水)		ホームステイ先で農作業・交流 学校でホームステイ先家族らとの交流 ホームステイ	8:30	ホテル出発 移動図書館活動参加・交流 ホテル
16日 (木)		ターソンヤン郡を自動車で出発 バンコク着 ラオスグループと合流	13:50 14:55	ビエンチャン発 TG571 バンコク着 タイグループと合流
		ホテル泊		
17日 (金)	09:00	ホテル発 鉄鋼工場労組保育園での交流 チュアパーン図書館視察 クロントイ事務所で事業説明、まとめの会議 夕食 ホテル泊		
18日 (土)	23:30	フリー(オプションで観光あり) ツアー団で夕食 バンコク発 TG622	機中泊	
19日 (日)	07:00	関西空港着 解散		

(2) スタディツアーの現状と検討方向

① 現状

大阪の保育・教育をはじめとした現場のスタッフが直接アジアのNGOの仲間と交流することを目的に実施し、17年間で延べ248名の参加者が現地を訪問しました。例外はありましたが、原則2つの国を訪問することとし、タイについては毎年、ラオスとカンボジアについては3年ごとに交代して募集してきました。2001年の「同時多発テロ」の年、およびバンコクの政治的混乱の年についてはツアーを中止とすることとなりました。

当会が結成してから18年が経過しますが、この前半の時期はツアー参加者も多く、20名を超えることもありましたが、近年は10名前後にとどまる状況にあります。また、募集の結果、行き先の希望が偏ることにより、どちらかの一方のコースのみの実施とした場合もありました。2つのコースの実施となっても、少数のツアーとして現地に受け入れていただくこととなっています。さらに、どちらかのコースのツアーを中止することとなれば、現地の受け入れ準備をお断りすることとなっていました。

経費については、17万円から18万円を参加費としていただいて、その予算の範囲ですべての経費を補うこととし、余剰金があれば原則として返金することとしていました。しかし、参加者が少数となれば航空運賃や宿泊費等以外のツアー団の共通経費がかさむこととなり、結果として、余剰金が出ないだけでなく、不足金を生じることとなっています。不足金が生じても追加徴収しないこととしており、一般会計からの支出となります。参加費の金額自体についても、7日間のツアーとしては割高感はぬぐいきれません。

また、ツアーの受け入れによって、現地のNGOのスタッフに大変な負担を強い、かつ日常業務の停滞の生じかねない状況となっていることについて認識するところで、できるだけ負担のないことが望ましいところです。一方、ツアーの行程の企画に当たって、スタディツアーを取り組んできた趣旨からすると、できるだけ現地の人々との顔の見える交流を希望するところであり、矛盾するところです。

② 検討方向

- ・ 参加者の減少傾向から、行き先国については毎年の募集を2カ国から1カ国に絞る方向で検討する。
- ・ ツアーの企画の段階で、当会の事業の実施状況やこれまでの交流経過を踏まえて、ツアーの目的を明確にし、受け入れをお願いするという方向で検討する。募集についてもツアーの趣旨に沿って行う。
- ・ ツアー行程の調整に当たっては、その年のツアーの目的や顔の見える交流という趣旨をふまえ、現地への要請をする。
- ・ 参加費の金額については、募集時期の前倒しによるチケット料金の低額化などの工夫によって、できるだけ現状維持をめざし、参加希望者の増をめざす。
- ・ その他の多様なコースへのツアー参加を希望する人については、SVAツアーを紹介する。

(3) 2011年度の取り組み

スタディツアーの企画・実施に当たっては、従来からご協力いただいているシャンティ国際ボランティア会およびシーカーアジア財団との協議を前提に、検討方向である①行き先国について募集を2カ国から1カ国しぼる、②ツアーの目的を明確化、③募集時期の前倒しなどの点について踏まえて、取り組むこととします。

5 こどもスタディツアーのとりくみ

(1) 2010年度の取り組み

北タイへのスタディツアーの募集を行いました。小人数の募集となり中止しました。

(2) 2011年度の取り組み

従来、シーカーアジア財団に協力いただいて取り組んできましたが、この間、応募が少人数にとどまっている現状があり、実施するかどうかも含めて検討することとします。実施する場合については、夏休みの時期に取り組むこととします。

6 絵本プロジェクトのとりくみ

(1) 取り組みの現状

絵本ボランティア活動は、自治労大阪府本部の会議室での、毎月第3木曜日の活動とともに、5ヶ所のボランティアグループの拠点での翻訳絵本作りが行なわれています。また、自治労大阪市従市民生活支部では、独自の国際貢献の活動として絵本作りが取り組まれました。

絵本作りは、ボランティアの参加者の数は決して多くありませんが着実に、そして楽しんで、作業を続けています。また、参加者の中からスタディツアーへ参加されたり、逆にツアー参加を機に絵本作りにこられたりと、いずれも子どもたちに絵本を！という気持ちをいただいていると思います。このように、多くの皆様のご協力を得て進めている絵本プロジェクトの成果は確実に現地に届いています。

〔ボランティアグループ〕

自治労大阪府本部（大阪マイペンライ） 毎月第3木曜日 PLP会館

（自治労大阪市従業員労働組合民生支部、一般市民、高校生などの皆さんが参加しています）

「アンコー会」（浪速絵本グループ）第2金曜日午後6時 谷町九丁目アベビル

マイペンライ茨木

カンボジアに絵本を送る富田林連絡会

マイペンライ兵庫

ポップあすか（飛鳥地区で絵本を作る会）

自治労大阪市職員労働組合北区役所支部 その他 たくさんのボランティアの方々による

これら、多くのボランティアによって作られた翻訳絵本は、こどもスタディツアーやスタディーツアーのメンバーが現地を訪れ、現地の様子を肌で感じ、翻訳絵本を自らの手で届けてきました。

(2) SVA東京との協議経過

絵本プロジェクトについては、これまでシャンティ国際ボランティア会（SVA）やタイのシーカーアジア財団の協力を得て進めてきた経過があり、この間、SVAと「絵本を届ける運動」の今後のありかたについて話し合いを行いました。主な内容は①翻訳にかかわる著作権問題への対応、②絵本の翻訳シールの貼り誤りや誤訳への対応、③「絵本を届ける運動」についてのSVAからの要請で、経過は下記の通り。

①SVAの考え方の整理

（2010年3月11日の話し合い以降のやり取りを整理した、SVAの考え方）

【著作権について】

- ・ 2006年より許可を得たもののみ使用していくよう方針決定。
- ・ 現在のカンボジア向け50タイトルは著作権クリア済み（問題となるものは入っていない）
- ・ 何をもってクリアとするか？⇒収集年に作成冊数・送付先を明記しての使用申請をし、それに対する許可

をいただいている。ただし、出版社によっては著作権を守るために「黙認」としての回答もあり。

- ・メディア掲載不可の「著作権 NG リスト」あり SVA 内部ではシェアしている。メディアとは、「マイペンライ通信」なども含まれる。

【使用タイトルについて】

- ・著作権問題をクリアしたもののみ使用していく方針。
- ・マイペンライ使用タイトルも SVA の NG リスト、著作権落ちリストと照合し、現在 OK のタイトルで参加いただく必要あり。
- ・タイへの絵本は、マイペンライ側で要確認。今後も送るのであれば著作権申請の必要がある。(説明) 複数の出版社を訪問し、著作権許諾をめぐる昨今の状況と今後の傾向についてヒヤリングをおこなった結果、こちらの認識していた以上に厳しい状況となっていることが分かりました。図書館・図書室という場で、本という著作物を通じて支援をおこなう団体として、会全体でも著作権に対する意識を高めるべきと実感しております。「絵本を届ける運動」としては、絵本の著作権許諾状況にもとづき収集・配布を行うべく、管理を徹底していく所存です。

貴会で独自に著作権許諾申請及び翻訳・シール作成を行うことが可能であれば、当会の「絵本を届ける運動」にあわせていただく必要はございません。

種類を限って実施されれば、大きな手間はかからないと思いますし、申請方法や訳文シール作成方法等、ご説明させていただきます。ご検討くださいませ。

【シールについて】

- ・シールの翻訳間違い指摘が最近増えており、昨年から見直し中。
 - ・マイペンライさん使用のシールにも、誤りが含まれている可能性あり。
- ⇒ シール原本を正しいものにする必要あり (子どもによりよい言葉の本を提供したい)
- タイへの活動は、マイペンライが独自にされているのであれば、要確認の必要あり (SVA の「絵本を届ける運動」ではタイは対象外)
- ・原本の差し替えにあたってはコピー代の 10 円/枚×枚数+送料のご負担をお願いしたい。(説明) 現状の「絵本を届ける運動」でも、著作権と翻訳シールの管理について課題を抱えております。よって、Cセットでのご協力としてお渡しした翻訳シールのコピーは、その後の管理はお任せすることになります。が、時宜にかなった絵本タイトルを収集・配布していくための、コンスタントな情報共有が可能かどうかとも課題となっております。SVA の現体制としては、できる限り整理を行い、シンプルな流れを形成せざるをえない状況となっております、この点でも、当会を通じてのご参加にご協力をお願いしたく存じます。

【今後の絵本を届ける運動について】

- ・当面の「絵本を届ける運動」
諸々の課題解決に向けて、下記のような形でご協力いただくこととなりました。
- 現) Aセット (絵本+シール) ¥2200
Bセット (シールのみ) ¥1200
50セット以上のお申し込みの場合 1セット当たり 200円を割引
- ・2011年度4月よりの絵本を届ける運動
Aセット (絵本+シール) ¥2200 のみ申し込みを受ける。割引制度廃止
 - ・現地のニーズにあわせて配付計画をたてているので、国ごと、絵本のタイトルごとの調整が困難になるため
Aセット (絵本と翻訳シールがセット。1セット 2200円)
Bセット (翻訳シールのみで、絵本は申込者が用意する。1セット 1200円)
Cセット (絵本もシールも団体で用意。翻訳シール原本作成費 (翻訳作業も含む)、輸送、配付費などとして 300円)
- (説明) 3月にはCセットとして一冊あたり 300円の配布費用ご負担をお願い申し上げましたが、Cセットでのご協力冊数について当会が把握できるのは、現地にお届けいただいたご報告後になり、当会の管理外となっております。当会としては、当会を通じてご参加いただく通常の形 (=2011年からはAセットでのお申し込み) に合わせていただくことをご検討いただきたく、お願い申し上げます。300円の負担が困難であるとうかがっておきながら、たいへん恐縮ではございますが、何卒よろしくようお願い申し上げます。

②絵本ボランティアグループへの説明の経過とSVAへの再度の要請

ア 絵本を送る方式について大阪マイペンライトとしては、カンボジア語、ラオス語の絵本の活動を断念し、タイ語のみの活動を続けることの方針のもと、ボランティアグループへの説明を行いました。これに対して、カンボジア語の翻訳絵本作成を中心に取り組んでいるグループから、突然の方針転換に対しての驚きの声があり、カンボジア語の絵本を送ることを今年度で終わることなく、新年度以降も今までどおりの方法で継続出

来る方法はないかとの意見が出された。また、現時点では、Aセットの方式を選択するしかなく、Aセットの方式を採用する場合は、その費用について当会が補助する余裕はなく、グループあるいは個人の負担になることを確認した。

また、現地に送る方式についてはSVAを通じるものになり、従来のようなスタディツアーの参加者が持参する方式はタイ語のみとなることを確認した。

以上の意見集約のうえに立って、なお当会の方針転換の再考を求める声があった。

イ SVAへの再検討の要請

「SVAとしての現状認識と方針確立について一定認識しつつも、当会としても絵本を通じたカンボジアやラオスとの交流活動を見直すことになるものであり、何とか今までの活動の継続が出来ないかとの思いです。しかし、現時点で当会から逆に提案する内容を持っておらず、SVA様に再検討をお願いするしかないと考えています。

以上、至っている事態についてご理解いただき、再検討をお願いします。」

ウ SVAとの継続した協議

2010年12月21日に、大阪において再度の協議を持ちましたが、SVAの方針についての変更はないとのことです。

(3) 絵本活動についての大阪マイペンライの方針

① 著作権問題と使用する絵本のタイトルについて

・著作権問題については、著作権侵犯という指摘があったときに、当会だけでは対応できない問題であり、SVAが示す著作権上使用できないタイトルについては、今後は作成対象からは除外する。

タイ語の絵本の著作権問題については、シーカーアジア財団と協議の上対応する。

(絵本のタイトルにかかわって、カンボジア語の絵本を作成する場合については、現地が必要としているタイトルが50タイトルに絞られていることに理解し、了解して対応する。同じく、ラオス語の絵本を作成する場合には、1年で10のタイトルに絞り、毎年タイトルを変えていく方式についても基本的に了解する。それぞれ、ボランティアグループが作成する場合は以上を踏まえて取り組む。)

② 絵本を送る活動の「方式」について

SVAからは、最終的な要請として、カンボジア語及びラオス語の絵本を現地に届ける方式については、いわゆるAセットのみでの対応が求められています。この方式では、会員やボランティアの方にAセットに伴う費用(1セット2200円)の負担を強いることになり、当会がその負担を肩代わりすることもまた困難な状況です。さらに、これまで、作成した絵本は、SVAにゆだねる方式ではなく、直接スタディツアーの参加者が現地に届けることで、ボランティアの思いを一緒に届けてきた経過があり、このような形で届ける方式ができない状況となることについては、受け入れできないと考えます。

SVAに対して、「従来のカンボジア語・ラオス語の絵本を直接届ける方式について継続」を要請したところですが(上記(2)②イ)、この実現は困難と判断せざるを得ず、当会としてカンボジア語・ラオス語の絵本を直接届ける取り組みについては断念することとします。

タイ語については、SVAとしては取り組んでおられないので、シーカーアジア財団と協議しつつ、取り組みを継続することとします。

③ 翻訳絵本の品質の問題

「子どもによりよい言葉の本を提供したい」とするSVAの方針は了とするものであり、そのために必要な対応をしなければならないと考えます。当会のボランティア活動や各グループの活動において、経験者がアドバイスして貼り間違いなどをなくし、チェックするするなどして、より良いものを提供する努力が必要です。また、翻訳の質の向上のために、シーカーアジア財団にも協力いただいて、改善を図ることとします。

7 組織活動について

(1) 活動の現状

① 会員の状況

大阪マイペンライは部落解放同盟大阪府連・大阪教組・自治労大阪府本部の組織的協力を得つつ、団体会員、個人会員の協力、自主的な参加によって15年間の取り組みを進めてきました。また、財政的にもこれらの組織・個人に支えられて活動を進めることができました。今後も、組織的な協力を得つつ、個人の自主的な参加という、大阪マイペンライ的な活動スタイルを維持しながら、進めていくこととします。

会の現状としては、2011年3月現在の個人会員は111名、団体会員は23団体と、個人会員の減収となっており、会員拡大の取り組みが必要となっています。

②財政

収入に対して、会費の占める割合は12%と依然低い状況にあります。今年度は「国際ボランティア貯金」事業の経費を補うための寄附に加え、借入金によって一時的に赤字を解消せざるを得ない実態となりました。新年度も事業の継続を予定しており、収入不足が予想されます。

会費は安定した財政基盤であり、会員の拡大を通じて、財政的な支えの拡充を図っていかねばなりません。2003年度からクラフト売上金を一般収入に繰り入れることとしましたので、さまざまな機会を通じてクラフト販売による収入の増をめざします。今年度もシーカーアジア財団の協力によってモン・カレンダーを作成し、3団体をはじめとした会員の協力を得てあっせんしました。

③組織基盤の確立

引き続き3団体をはじめとした団体会員との連携、100名を超える個人会員との連携を強め、会の基盤の充実に努めることとします。その延長線上に、特定非営利法人(NPO)化に向けた準備を進めます。

④通信の発行

第78号(2010.6.1)第79号(2010.7.11)第80号(2010.8.10)第81号(2011.10.10)第82号(2011.4.15)

⑤ホームページの開設

2011年4月、当会のホームページが出来上がりました。今後、改良を加えて親しみやすいものへとしていきたいと考えています。

(2) 団体会員の活動

①大阪市従民生支部(現市民生活支部)の国際貢献事業の取り組み

大阪市従民生支部の支部解散に伴う記念事業の一つとして、タイ・バンコクのスアンプルースラム地区に「食育推進がおこなえ、支部組合員と現地住民とが交流をもてる場コミュニティーセンターの建設、そして同国北西部の山岳地帯のメーラムン学校の学生寮の建設、さらには、日本国内での活動として、支部での絵本作成の取り組みが行われた。また、これらの施設の建設の進捗に伴う現地視察のためのスタッフ派遣が取り組まれた。

タイ視察研修 2009年9月に5人が参加

2010年1月に4人が参加(スアンプルーのコミュニティーセンターの落成式参加)

2010年11月下旬に4人が参加(メーラムン学校の学生寮の落成式参加)

視察研修の中で、タイの人々との交流も一つのメインテーマと掲げ、以下の4回に渡り、「食」での交流が取り組まれた。

第1回 1回 (場所:シーカー事務所、内容:バナナの春巻き揚げ)

第2回 2回 (場所:スアンプルー地区、内容:ぶっかけ素麺と白玉入りぜんざい)
(場所:メーラムン学校、内容:白玉入りぜんざい)

第3回 1回 (場所:スアンプルー地区、内容:手巻きすしと握りずし)

②大阪市職民生支部のアジア保育交流事業の取り組み

結成50周年にちなみ開始された「タイNGO職員の人材育成」を根幹とした支援を継続し、保育の国際交流事業(短期招聘研修プログラム)が取り組まれた。

日程 2011年1月24日～28日

視察・交流先 子育ていろいろ相談センター、阿武山学園、子ども情報研究センター、わかくさ保育園、児童院、今池子どもの家、大淀保育所、更生相談所、NPO法人生活サポート釜ヶ崎部落解放同盟日之出支部、日之出保育所

多文化共生セミナーの開催

招聘スタッフ Karan Ngamthawikun (ガランさん、シーカーアジア財団パヤオ事業コーディネーター)
Vipa Suangamian (オイさん:シーカーアジア財団経理総務課長)

同行スタッフ(通訳等) 松尾久美さん((社)シャンティ国際ボランティア会タイ事務所)

(3) 組織の「特定非営利活動法人」への移行も含む今後のあり方の検討について

当会は発足以来、任意団体として活動してきましたが、発足18年を経て社会的な認知を得ており、今後、特定非営利活動法人(NPO)へ組織を移行も含め、組織のあり方について検討することとします。

8 現地NGOとの連携した活動の推進について

(1) 取り組みの現状

2008年度以来展開してきた大阪マイペンライ15周年事業は、タイに焦点を当てシーカー・アジア財団とともに実施してきました。この4年間の事業は、前半の2年間で保育者向け研修事業と研修教材開発センターの設置及び学生寮等の整備、後半の2年間で公開保育研修事業でした。そのめざすものは、シーカー・アジア財団が20年間取り組んできた絵本の楽しさと遊びの楽しさを子どもたちに提供する活動をより広く、深くタイ社会の保育者や子どもたちに伝えたいとの願いを受け止めて実施した研修事業と、それを定着させ、現地の自律的取り組みを進めるための環境整備でした。

(2) タイの現状

近代化はますます進み、高層ビルや商業地域・高級マンションが立ち並び開発が進むタイ社会ですが、マイノリティの住民社会における就学前保育・教育現場の環境はとて厳しく、改善されていないのが実情です。子どもたちにかかわる保育者がより良い保育・教育を求めても、研修の機会はほとんどなく、子どもにかかわる職員体制もとて厳しく、子どもを安全に日々預かることで精いっぱい、「子どもたちはテレビを見てすごすだけで、走ったり遊んだりしない」との生活実態もやむをえないのではと理解せざるを得ない状況です。これら実態からの改善は、関わる保育者・保護者の願いであり、また改善に向けての現在唯一の希望は、シーカー・アジア財団が実施する研修の機会、おもちゃや絵本・教材の貸出し、保育・教育にかかわる情報の提供のみであると言っても過言ではないのです。2008年以來研修時に会おう多くの保育者の訴えからの実感です。

(3) シーカーアジア財団の現状と課題

タイのマイノリティ社会の保育・教育の現状は、シーカーアジア財団が従来からの取り組んでいる図書館活動・移動図書館活動・奨学金貸与活動とともに、同財団が運営する教材開発・研修センターが実施する保育・教育の内容にかかわる情報の提供・保育者対象の研修の開催を、必要不可欠のものとして、より一層の拡充をめざすことを求めています。

このような中で、シーカー・アジア財団はSVAからの財政的な自立をめざし歩んでいます。その中でも、教材開発・研修センターについては、大阪マイペンライが共同して設置したもので、その活動の継続と運営の安定を希望するものです。そのためには財政的な安定と人材の確保が不可欠と認識しています。

そのため、シーカー・アジア財団が同センターの運営のための自主財源の確保するまでの当分の間、大阪マイペンライとして大阪を中心とした保育・教育の関係者の皆様のお力を借りし、子どもの育ちを豊かにする教材開発・研修センターの保育・教育の内容にかかわる情報の提供や保育者対象の研修の開催が滞ることのないように資金援助の取り組みを行うこととします。

教材開発・研修センターの運営の支援のための特別資金活動

1口	10000円	個人	1口	10000円から	1年間	50口をめざす	2012年から5年間
		団体	5口	50000円から	1年間	150口をめざす	2012年から5年間

9 「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の経過と継続した事業の実施について

(1) 「国際ボランティア貯金」寄付金の配分の決定

2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の決定内容

配分額 2,536,000円

事業名 スラム地区の保育園での公開保育、保育園・図書館スタッフ研修及び住民の意識向上目的の講習会の実施

実施地域 タイ・バンコク市内15箇所の保育所、図書館

(2) 「国際ボランティア貯金」寄付金の配分による2010年度事業の実施について

① 公開保育研修事業の概要

内容：2年間の保育者対象の研修を踏まえ、さまざまな保育現場でこどもや親子対象の出前保育・公開保育を実践し、子どもとともに・親子一緒に遊ぶ快さを実感する機会を持つとともに、子どもや保護者へのかかわり方などを、公開保育を通して実践交流・意見交換の機会を持つ。障害児とともに保育所生活を作る快さを実践する。

公開保育参加者の視点

出前保育：こどもへのかかわり、遊びの提供方法はどうか。こどもは、遊びに対する興味・意欲をもち、楽しんでいるか。

出前親子活動：親子へのかかわり、遊びの提供方法はどうか。こどもは、遊びに対する興味・意欲をもち楽しんでいるか。親のこどもへのかかわりはどうか。親子で遊びの楽しさを共感しているか。

出前保育	A：保育園又は幼稚園	こども：いつもの保育時間 講師：8時ころから現場へ 見学者：9時30分現場集合 10～11時 保育 11～12時 見学者・講師と意見交流会
	B：図書館	こども：いつも活動時間

	講師：13時ころから現場 見学者：14時ころから 15～16時 保育 16～17時 見学者・講師と意見交流
C 出前親子活動 午前午後各1回	午前 親子：9時集合：自由に遊ぶ 講師：9時から現場へ：親子にかかわる 見学者：9時集合 9時30分～10時30分 親子活動 10時30分～11時30分 見学者・講師と意見交流会 午後 親子：13時30分集合：自由に遊ぶ 講師：13時から現場へ：親子にかかわる 見学者：13時30分集合 14～15時 15～16時 見学者・講師と意見交流会
見学保育者数	出前保育：10人を限度 親子活動：10人前後

②2010年9月研修事業

9月7日～13日

- 9月7日(火) 早朝離日、バンコク着 スラム地区視察
 8日(水) オリエンテーション・研修準備
 9日(木) ①「出前：ともにあそぶ公開保育」・③「公開保育実践研修会」
 10日(金) ①「出前：ともにあそぶ公開保育」・③「公開保育実践研修会」
 11日(土) ②「親子遊び公開保育」・③「公開保育実践研修会」
 12日(日) ②「親子遊び公開保育」・③「公開保育実践研修会」
 13日(月) 総括会議
 14日(火) 早朝帰国

派遣者の氏名(敬称略)

- 西野伸一 (今池こどもの家・保育士)
 稲葉清美 (こども情報研究センター・保育士)
 竹野起代 (大阪市職民生支部・保育士)
 松尾純代 (帝塚山大学教員・保育士)

	9月7日 (火)	8日 (水)	9日(木)	10日 (金)	11日 (土)	12日 (日)	13日 (月)
午前	・スラム視察 ・クロントイ図書館・ス ワンプルー保育園での 遊びの様子を学ぶ	・公開保育 ①電車労働組 合運営保育園		・公開保育 ②ラーウィ ンタラー保 育園	・公開保育 ③スラムこ ども財団	・公開保育 ⑤鉄鋼工場 運営保 育園	公開保育の 総括会議と 交流
午後							

③2011年2月研修事業

2月15日～21日

- 2月15日(火) 早朝離日、バンコク着 スラム地区視察
 16日(水) オリエンテーション・研修準備
 17日(木) 午前 ①公開保育研修
 18日(金) 午前 ②公開保育研修 午後 ③公開保育研修
 19日(土) 午前 ④公開保育研修
 20日(日) 午前 ⑤公開保育研修 午後 ⑥公開保育研修
 21日(月) 総括会議
 22日(火) 早朝帰国

派遣者の氏名

朴喜美子 (愛染橋保育園・保育士)
 岡本祥子 (こども情報研究センター・保育士)
 俳山世紀子 (大阪市保育士)
 松尾純代 (帝塚山大学教員・保育士)

	2月15日 (火)	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)	20日(日)	21日 (月)
午前		・公開保育実施か所についてオリエンテーション ・シーカアジ	公開保育① バーンタ ンタウン 児童施 設 0～1歳 1～3歳	公開保育② ラート プレー オ45保 育園	公開保育④ パーク クレ ット児 童施 設	公開保育⑤ マハー ウォ ン3地 区保 育園	公開保育 総括会 議と交 流
午後	・スラム視察 ・保育園・図書館で子どもの姿に学ぶ	ア財団のスタッフとともに公開保育シュミレーション ・準備物、サポートなどの確認		公開保育③ スワンプ ー図書 館		公開保育⑥ チュア パー ン図 書館	

④3月モニタリング

3月4日(金)～6日(火)

出前保育所実施か所の訪問

実施か所の保育者と懇談会

派遣者の氏名 松尾純代 増田和生

⑤ボランティア貯金寄付金助成事業会計報告

国際ボランティア貯金【2010年度公開保育研修事業収支計算書】

収入

項目	収入額
配分金	2,277,000
一般会計からの繰り入れ	200,000
サワディ基金からの繰り入れ	300,000
追加繰り入れ予定額	352,622
合計	3,129,622

支出

配分項目			配分金(実施計画の承認に基づく) (円)	支出額(円)
項目	品名	数量		
日本人専門家航空運賃	日本⇄タイ	4回	188,000	248,280
日本人専門家航空運賃	日本⇄タイ	5回	292,000	249,120
日本人専門家航空運賃	日本⇄タイ	2回	117,000	119,400
日本人専門家・スタッフ滞在費	日本人人件費	62人日	171,000	162,000
日本人専門家日当	日本人人件費	54人日	151,000	126,000
現地交通費	ガソリン代	7日×2回	37,000	38,220
現地スタッフによる研修事業の事前調整・準備経費・ガソリン代	ガソリン代	21か所	81,000	77,082

現地スタッフによる研修事業の事前調整・準備経費・資料作成費	資料作成費	31 か所	32,000	30,281
現地事前調整スタッフ人件費	現地スタッフ人件費	2人×7日×12か月	98,000	96,314
施設使用料・設営費	施設使用料他	10 か所	87,000	81,900
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・ガソリン代 (10 か所)	ガソリン代	10 か所	26,000	28,747
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・資料作成費	資料作成費	40 人×10 か所	105,000	99,099
現地運営補助スタッフ人件費	現地スタッフ人件費	10 人×10 か所	29,000	27,300
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・公開保育教材費	保育教材費	10 か所	262,000	211,363
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・子ども保育用おもちゃ購入費	おもちゃ購入費	一式	105,000	139,305
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・研修用配布絵本購入費	絵本購入費	10 か所	131,000	125,495
現地スタッフによる研修準備・運営補助経費・研修用参考図書購入費	参考図書購入費	10 か所	87,000	82,772
通訳人件費	現地スタッフ人件費	7日×2回	12,000	11,466
資料翻訳費	翻訳費	25 枚	44,000	40,950
住民講演会用施設使用料・設営費	使用料他	1 か所	44,000	0
住民講演会用ガソリン代	ガソリン代	1 か所	17,000	0
現地スタッフ運営補助人件費	現地スタッフ人件費	30 人	9,000	0
住民講演会用資料作成費	資料作成費	200 人	105,000	0
モニタリング・反省会経費	現地スタッフ人件費	30 人	9,000	8,190
モニタリング・反省会経費	施設使用料他	1 か所	9,000	8,190
モニタリング・反省会経費	ガソリン代	10 か所	26,000	24,570
モニタリング・反省会経費	現地スタッフ通訳人件費	5 日	3,000	3,822
小計(配分金使用予定額)			2,277,000	2,039,866
その他自己資金支出(団体負担金含む)				750,848
返還予定金額				338,908
合計				3,129,622

(2)「国際ボランティア貯金」寄付金による2011年度事業の実施について

①国際ボランティア貯金寄附金配分の決定

[事業名]保育スタッフ研修及び親子保育研修(タイ)

[実施地域]バンコク都、及び周辺県の12箇所の保育園・幼稚園または図書館

配分金の金額 3135千円

②2011年度事業 実施計画について

別紙

③2011年度第1回バンコク研修事業の具体化の取り組み

事前調整のためのスタッフの派遣

5月20日～22日

松尾純代、稲葉貞夫、増田和生

第2号議案 2010年度決算と2011年度予算案

2010年度一般会計決算報告(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部

項目	内 訳	本年度収入額	昨年度収入額
会費	個人会費	222,000	162,000
	団体会費	430,000	490,000
助成金	助成金	0	0
事業収入	セミナー参加費	150,000	150,000
	招聘研修参加費	128,000	130,000
	物品売上	1,447,601	1,256,000
雑収	ツアー参加費	1,260,000	1,620,000
	雑収	62	500,073
	寄付	1,224,000	725,626
	借入金	500,000	0
	当年度収入小計	5,361,663	5,033,699
繰入金	繰入金	100,000	60,018
繰越金	繰越金	110,120	76,389
	収入合計	5,571,783	5,170,106

支出の部

項目	内 訳	本年度支出見込額	昨年度支出額
運営費	総会費	81,600	173,110
	通信費	143,843	174,960
	需要費	27,178	30,742
	事務局費	0	0
事業費	招聘研修	968,759	888,613
	子どもスタディツアー	0	0
	絵本プロジェクト	0	9,345
	交流費	0	0
	スタディツアー	1,503,837	1,553,588
雑費	クラフト事業費	837,752	708,172
	雑費	73,600	510,830
	返済金	0	0
	当年度支出小計	3,636,569	4,049,360
繰出金	繰出金	1,615,940	1,010,626
	支出合計	5,252,509	5,059,986

次年度繰越金 319274円

2011年度一般会計予算案(2011年4月1日～2012年3月31日)

収入の部

項目	内 訳	本年度予算額	昨年度予算額
会費	個人会費	250,000	200,000
	団体会費	450,000	500,000
助成金	助成金	0	0
事業収入	セミナー参加費	150,000	150,000
	招聘研修参加費	150,000	150,000
	物品売上	1,300,000	1,300,000
雑収	ツアー参加費	1,440,000	1,700,000
	雑収	10,000	10,000
	寄付	500,000	400,000

	借入金	100,000	500,000
	小計	4,350,000	4,910,000
繰入金	繰入金	0	150,000
繰越金	繰越金	319,274	110,120
	収入合計	4,669,274	5,170,120

支出の部

項目	内 訳	本年度予算額	昨年度予算額
運営費	総会費	60,000	60,000
	通信費	180,000	200,000
	需要費	40,000	50,000
	事務局費	10,000	10,000
事業費	招聘研修	800,000	1,100,000
	子どもスタディツアー	50,000	50,000
	絵本プロジェクト	200,000	200,000
	交流費	20,000	50,000
	スタディツアー	1,440,000	1,700,000
	クラフト事業費	800,000	700,000
雑費	雑費	10,000	10,000
	返済金	500,000	500,000
	小計	4,110,000	4,630,000
繰出金	繰出金	500,000	500,000
予備費	予備費	59,274	40,120
	支出合計	4,669,274	5,170,120

サワディ基金収支報告書(2010年4月1日～2011年3月31日)

収 入

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
繰越金		1676773	
寄 付	大阪府教組よりの寄付	100,000	
そ の 他	利子	524	
合 計		1777297	

支 出

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
事業費	奨学金	0	
繰出金	国際ボランティア貯金 事業への繰出し	300000	
繰越金		1477297	
合 計		1777297	

サワディ基金収支予算書(2011年4月1日～2012年3月31日)

収 入

項目	内 訳	金 額 (円)	備 考
繰越金		1477297	
寄 付		100000	
そ の 他	利子	703	
合 計		1578000	

支 出

項目	内 訳	金 額	備 考
----	-----	-----	-----

		(円)	
事業費	奨学金	0	
繰出金	国際ボランティア貯金事業への繰り出し	500000	
繰越金		1278000	
合計		1578000	

年度 月現在 単位:パーツ

サワディ基金会計報告

項目	収入	支出	合計
2009年度末残金			412451.41
2010年奨学金			0
2010年度利子			8787.18
2011年5月現在			421,238.59

絵本プロジェクト収支報告書(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額(円)	備考
繰越金		134631	
一般会計よりの繰入金		0	
利子	利子外	20	
合計		134651	

支出

項目	内 訳	金額(円)	備考
事業費		112221	
ボランティアグループへの補助	3万円×5カ所	0	
繰越金		22430	
合計		134651	

絵本プロジェクト収支予算書(2011年4月1日～2012年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額(円)	備考
繰越金		22430	
一般会計よりの繰入金		100000	
利子	利子外	20	
合計		122450	

支出

項目	内 訳	金額(円)	備考
事業費		70000	
ボランティアグループへの補助	3万円×5カ所	50000	
繰越金		2450	
合計		122450	

会計監査報告

2011年5月25日

アジア保育教育交流推進実行委員会
(大阪マイペンライ)
代表 森 みどり 様

会計監査
田村 賢一 (印)
山下 裕子 (印)

2010年度大阪マイペンライ一般会計決算の監査結果について

大阪マイペンライの2010年度一般会計について2011年5月25日に監査した結果について、以下のとおり報告します。

記

- 1 会計期間 2010年4月1日から2011年3月31日
- 2 監査の資料
 - ① 支出・収入命令書つづり
 - ② 金銭出納一覧表
 - ③ 項目別支出・収入額一覧
 - ④ 預金通帳・郵便振替通知書
- 3 監査の結果
上記の期間における収入・支出の執行、出納など事務管理は適切になされていると認めます。

以上

第3号議案 2011年度役員体制(案・敬称略)

役 職	名 前	所 属
代 表	森 み どり	個 人
副 代 表	大 西 智 子	大 阪 府 教 職 員 組 合
副 代 表	高 橋 定	部 落 解 放 同 盟 大 阪 府 連 合 会
副 代 表	寺 内 信 人	自 治 労 大 阪 府 本 部
事 務 局 長	稲 葉 貞 夫	個 人
事 務 局 次 長	原 田 典 子(新)	大 阪 府 教 職 員 組 合
事 務 局 次 長	松 尾 純 代	個 人
事 務 局 次 長	増 田 和 生	個 人
兼 会 計 幹 事	松 尾 純 代	個 人
幹 事	井 澤 良 介(新)	自 治 労 大 阪 府 本 部 保 育 部 会
幹 事	中 島 啓 治	自 治 労 大 阪 市 職 民 生 支 部
幹 事	栗 本 正 則(新)	自 治 労 大 阪 市 従 市 民 生 活 支 部
会 計 監 査	田 村 賢 一	カ ン ボ ジ ア に 絵 本 を 送 る 富 田 林 連 絡 会
会 計 監 査	山 下 裕 子	子 ども 情 報 研 究 セ ン タ ー

運営委員 中島美智子、竹野起代、山下淳子、今村千晶(新)、松尾久美(休会中)

実務分担(★は責任者)

会計処理 ★ 松尾純代、稲葉貞夫
通信発行 ★ 稲葉貞夫、松尾純代

会議資料作成	★ 稲葉貞夫、松尾純代
スタディツアー	★ 増田和生、松尾純代、稲葉貞夫
招聘研修・セミナー	★ 松尾純代、高橋定、大西智子、寺内信人、稲葉貞夫
絵本プロジェクト	★ 中島美智子、山下淳子、田村賢一
クラフト販売	★ 中島美智子、松尾純代、竹野起代
子どもスタディツアー	★ 増田和生、松尾純代、中島美智子

第4号議案 「国際ボランティア貯金」寄附金による事業にかかる特別会計の設置及び予算について

2011年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業「保育スタッフ研修及び親子保育研修」の新たな実施にともない、特別会計を設置し、次のとおりの予算案とする。

収入

配分金	配分金	3,135,000
	サワディ基金からの繰入れ	300,000
	寄附	200,000
	合計	3,635,000

支出

日本人派遣費	日本人専門家航空運賃	950,000
	日本人専門家滞在費	138,000
	日本人専門家日当	168,000
	現地交通費	36,000
	通訳人件費	16,000
	資料作成費	81,000
研修事業費	現地スタッフ交通費	96,000
	現地スタッフ人件費	101,000
	研修資料作成費	128,000
	現地運営スタッフ人件費	72,000
	研修施設利用料・設営費	98,000
	公開保育教材費	319,000
	子ども保育用おもちゃ購入費	136,000
	研修保育絵本購入費	195,000
	研修参考図書購入費	130,000
	資料翻訳費	54,000
	パネルディスカッション施設利用料・設営費	13,000
テキスト作成費	保育テキスト印刷費	404,000
	小計	3,135,000
	予備費（自己資金）	500,000
	合計	3,635,000

国際ボランティア貯金寄附金配分による事業

事業名:保育スタッフ研修及び親子保育研修（タイ）

実施地域:バンコク都、及び周辺県の12箇所の保育園・幼稚園または図書館

[配分金の項目と金額]	合計	3 1 3 5 千円
日本人専門家・スタッフ航空運賃（日本一タイ：12往復分）		9 5 0 千円
日本人専門家・スタッフ滞在（46泊分）		1 3 8 千円
日本人専門家日当（56人日）		1 6 8 千円
日本人専門家・スタッフ現地交通費（車両燃料費）		3 6 千円

通訳人件費（18人日）	16千円
資料作成費（75か所分）	81千円
現地スタッフ交通費（車両燃料費）	96千円
現地スタッフ人件費（168人日分）	101千円
※研修資料作成費（40人×12ヶ所分）	128千円
現地運営補助スタッフ人件費（10人日×12ヶ所分）	72千円
研修施設使用料・設営費（12か所）	98千円
※公開保育教材費（12ヶ所分）	319千円
※子ども保育用おもちゃ購入費	136千円
※研修保育絵本購入費（30冊×12ヶ所分）	195千円
※研修参考図書購入費（12ヶ所分）	130千円
資料翻訳料（25枚分）	54千円
パネルディスカッション施設利用料・設営費（1ヶ所分）	13千円
※保育テキスト印刷費（500冊分）	404千円

保育スタッフ研修及び親子保育研修実施計画

1. 目的

タイは東南アジアのなかで、経済発展が目覚ましい国のひとつであるが、都市と農村の格差が大きく、また大都市においても高層ビルの足元にスラム地域が広がっており、経済的理由などに基づく劣悪な子育て環境の中で子どもたちの教育の機会均等が奪われているのが実情です。

当会は、これまで大阪での子育てに関わる活動を展開してきた経験を活かし、大都市のスラム地域、少数民族の居住地域の保育園及び図書館を対象における保育・教育図書館事業の支援のため、現地 NGO と連携し、大阪への招聘研修の実施など、現地 NGO のスキルアップを図る活動を展開してきました。

また、2008年・2009年には、国際ボランティア基金配分により、バンコクのスラム地区31箇所の保育園・図書館スタッフのスキルアップを図る研修を実施してまいりました。そのなかで遊ぶ楽しさを実感し、また教材は身の回りの生活にもたくさんあることに気付いた保育者は、自らの保育園・図書館で子どもたちと共に実践しようとし始めました。また、親子関係が希薄になってきている大都市事情のなかで親子活動にも応用したいと取り組み始めました。しかしながら、いざ子ども対象に実践しようとしたとき、どのように遊びを提案すればよいか分からない、保護者へ親子活動の意義をどう伝えればよいか悩んでいるなど、保育者たちからの要求が出てきた事から、2010年国際ボランティア基金配分に基づき、子どもを対象とした公開保育、親子活動（あそび）の公開保育を実施しています。

2010年9月はじめ、今回申請に当たっての現地調査、9日から13日の公開保育の開催を通して、保育現場で保育実践をすることがいかに求められているのか痛感しました。

子ども対象の公開保育で言葉の壁を乗り越えて大阪からの講師と共に笑顔満開で遊びだす子どもの姿、子どもと共に緊張して保育園に来た保護者が、徐々にからだも心もほぐれ笑い出す姿に、当該保育園の保育者、見学していた保育者たちは、「こんな子どもの笑顔は始めてみた」「保育者と子どもの関係がとても近い」「あの親があんなに笑っている」「親子が見つめある笑顔が素敵」と感想を述べると共に、実際の活動を見る公開保育研修のすばらしさを実感していました。

2010年度公開保育の実施は10箇所、今年度公開保育の実施箇所でない保育所・幼稚園から、ぜひ次の機会にと要望があることと、バンコク内にとどまらず周辺県からの遊びの提供・親子活動（あそび）の関心も高くなっていることから、2011年度12箇所で公開保育研修を開催し、子どもが遊びを楽しむ活動、親子が心を通い合わせて活動する・あそぶ意義を多くの保育者が学べる機会を提供し、保育者のスキルアップを目指します。

2. 現地の状況

2008年・2009年2年間の保育者対象の研修会の実施により、①遊びを楽しむ快さ、②身の周りにある廃材等が子どもにとってとても大事な教材になる事、③保育者が絵本を楽しみ、自分たちで絵本を作るすばらしさを実感し、2009年国際ボランティア基金配当で設立した教材開発研修センターに教材研究に通ってくる、絵本を借りに来る保育者が増えました。また保育園を訪問すると廃材を活用した教材がとても増えたことから、研修の成果があったことは明確です。

しかし、保育所見学をすると子どもは椅子に座りビデオ（子ども番組）をずーと見ているというような、遊びとはいえない活動が多くを占めていました。保育者に話をすると、どのように遊びを子どもに呼びかけたらいいのか、椅子から降りると「わー」と暴れ周り、言う事を聞いてくれないのですと悩みを打ち分けてきます。このような状況

から、保育者対象の研修会だけでなく、実際に子どもを対象とする。親子を対象とする活動を行い、それを見学した保育者と保育内容について学びあう研修会の実施が求められていると考えました。

公開保育研修会の成果は、2010年中間保育でも報告しましたが、実際に子どもと共に活動する、親子と活動する公開保育、そして子どもの反応・親子の反応を見たうえでの意見交換会はとても有意義でありました。見学者からの次の機会は、わが保育園でして欲しいという要望も多く聞かれました。

教材開発研修センター登録会員もバンコク都内、周辺県にも広がっていることから、2011年においても公開保育研修の実施が望まれています。

3. 全体事業

バンコク都内スラム地域を中心とした31か所の保育園・図書館に加え、バンコク都内の幼稚園や周辺県の保育園・幼稚園44か所に呼びかけ、その中から選定して合わせて12箇所で、子ども・親子を対象とした遊び(からだを使った遊び、手作りおもちゃを使って遊ぶ、ふれあい遊び、リズムに乗って遊ぶなど)の公開保育研修を開催する。公開保育を開催する保育所の保育者や研修に参加する保育者・そして保護者が、子どもへの関わり方を学び、子どもが遊びを楽しんでいる姿、親子が遊びを共感している姿を実感する機会を提供し、研修会参加者と保育内容について意見交換することで、保育者のスキルアップを図る。

2011年度公開保育研修実施日

11年6月	21日(火)	22日(水)	23日(木)	24日(金)	25日(土)	26日(日)	27日(月)
		シュミレーション	育の内容確認 ①	②	③	⑤	総括会議
	視察				④	⑥	
12年2月	4日(火)	15日(水)	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)	20日(月)
		シュミレーション	育の内容確認 ①	②	⑤		総括会議
	視察		③	④	⑥	パネルディスカッション	

公開保育研修の1日の流れ

午前

9時	開催保育園・幼稚園に到着 子どもや親子と対面し、一緒に活動する
9時20分ころ	講師による遊び開始
10時20分ころ	遊び終了
10時30分ころ	公開保育の意見交換会
11時30分ころ	

午後開催の場合は、開催場所へ、ない場合はシーカアジア財団にて反省会・次の準備など午後、保育園開催の場合午睡を考慮し、下記のような時間とする

14時	開催保育園に到着 子どもや親子と対面し、一緒に活動する
14時30分ころ	講師による遊び開始
15時30分ころ	遊び終了
15時30分ころ	公開保育の意見交換会
16時30分	

図書館開催の場合

13時	開催図書館に到着 子どもや親子と対面し、一緒に活動する
13時 20 分ころ	講師による遊び開始
14時 20 分ころ	遊び終了
14時 30 ころ	公開保育の意見交換会
15時 30 分ころ	

(1) 子どもを対象とした公開保育研修会・親子を対象とした公開保育研修会

教材開発研修センター登録会員保育園・幼稚園・図書館から、実施保育園・幼稚園・図書館を選考する。5月・12月の開催月前の事前調整時にバンコクにて現場視察をしながら選考・決定する。選考に当たっては、「公開保育、親子保育事業」への関心度及び積極性の度合い、これらの事業内容に対するニーズの高さ、研修後のその保育園等がある地域への影響の度合いなどを基準にし、教材開発研修センターに登録している保育園や保育者からのニーズが高い保育園を選定し、現場を訪問し当該保育所保育士と話し合いの上、保育園を決定してする。

子どもを対象とするのか、親子を対象とするのか、平日か・土日か、午前か・午後か、についても事前調整時に調整し、決定する。

具体的遊びのテーマについては、開催保育園・幼稚園・図書館のニーズに基づき、2008年・2009年の2年間の研修内容を土台に組立て、日本側講師と調整する。

(2) 公開保育研修会の意見交換会 (公開保育+保育実践意見交換会)

公開保育開催保育園・幼稚園・図書館と見学者を募る際に、公開保育見学と保育実践意見交換会参加であわせて公開保育研修会であること、見て学ぶ意義を徹底して広報を行う事とする。

公開保育開催までに日本の講師団会議を国内で行うと共に、公開保育研修に向けて訪タイ後現地視察とともにシーカアジア財団スタッフとの研修内容のシュミレーションを徹底して実施する。公開保育研修会終了ごとに、日本側講師、シーカアジア財団のスタッフ間において、自らの子どもへ・親子へのかかわりを振り返り、スキルアップの機会とする。

(3) 6月・2月の公開保育研修会終了時に総括会議

6月6箇所、2月6箇所の終了後、公開保育開催保育所・幼稚園・図書館の代表者、公開保育研修会参加者との総括会議を実施し、公開保育研修会の総括を行う。

(4) パネルディスカッション

2月の最終日に、2008年～2011年4年間の活動に関わった現地保育園・幼稚園・図書館からの代表者、地域住民代表(保護者代表)、シーカアジア財団、大阪マイペンライからそれぞれ、パネラーを選出し、4年間の取り組みについて、子どもや保護者・保育者にとってどうだったか、今後のどのような活動が求められているのかを話し合う。

(5) テキストの作成

公開保育や保育実践意見交換会で提供した「手作りおもちゃ」や「子どもとの遊び」を図式化などしてテキストとして印刷し配布する。

5月 実施箇所選定とテキスト作成会議

6月 第1回終了後、総括会議とテキスト整理

12月 実施箇所選定とテキスト整理

2月 第2回終了後、テキスト整理

3月末 作成

4. 具体的日程

① 第1回公開保育研修会事前調整

5月20日(金)～22日(日)

- ・ 公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・ シーカアジア財団と実施箇所の選定
- ・ 公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討
- ・ テキスト会議の開催

② 第1回公開保育研修会 6月

6月21日(火)	・チュワパーン・スワンプルー・クロントイスラムの視察
22日(水)	・シーカアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う
23日(木) ～26日(日)	・公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。
27日(月)	・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括会議 ・大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括と次回打合せ ・テキスト整理

③第2回公開保育研修会事前調整

12月21日(水)～23日(金)

- ・ 公開保育応募保育園・幼稚園・図書館の視察
- ・ シーカアジア財団と実施箇所の選定
- ・ 公開保育実施箇所のニーズを踏まえ、保育内容の検討

④第2回公開保育研修会 2月

2月14日(火)	・チュワパーン・スワンプルー・クロントイスラムの視察
15日(水)	・シーカアジア財団スタッフ・日本人講師と共に、公開保育研修保育内容についてシュミレーション、役割分担、準備を1日行う
16日(木) ～19日(土)	・公開保育研修会を、保育園・幼稚園・図書館で実施する。6箇所 ・現地調整に基づき、公開保育場所、日程、時間を決定し実施。
20日(日)	・ 4年間の研修事業のまとめとしてパネルディスカッション ・ パネラー 研修参加者の代表 公開保育実施保育所・幼稚園・図書館から代表 シーカアジア財団 大阪マイペンライ
21日(月)	・公開保育開催保育園・幼稚園・図書館代表者、研修会参加者と、大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括会議 ・ 大阪マイペンライ・シーカアジア財団と総括 ・ テキスト整理 ・ テキスト作成